

令和4年度 第1回 埼玉支部評議会 議事概要

開 催 日	令和4年5月24日
出席評議員	石井評議員、甲原評議員、小林評議員、齋藤評議員、須藤評議員、原評議員、中川評議員（五十音順）
議 題	
<p>1. 報告事項</p> <p>① 令和3年度埼玉支部事業計画実施状況について</p> <p>② 健康経営推進の取組み及び第2期埼玉支部データヘルス計画の実施状況について</p> <p>③ 令和4年度埼玉支部事業計画及び支部保険者機能強化予算について</p> <p>④ 協会のインセンティブ制度について</p> <p>⑤ 関東甲信越ブロック評議会の開催結果報告について</p> <p>⑥ その他報告事項について</p>	

議 事 概 要	
<p>評議員からの意見、質問及びそれらに対する事務局からの回答は以下のとおり。</p>	
<p>① 令和3年度埼玉支部事業計画実施状況について</p>	
<p>（事業主代表）</p> <p>国全体でジェネリック医薬品の使用を促進する中、品質不正の問題で供給が滞り、ジェネリック医薬品が使用できない、加えて、広報も積極的にできないという話は全体的にあまり良くない方向だと思う。ジェネリックの生産体制や供給体制のカバーとか今後の見通しを教えて欲しい。</p> <p>（事務局）</p> <p>ジェネリックメーカーの品質不正の問題があり、一部のジェネリックメーカーが業務停止等となった。この一部のメーカーが大手で影響が大きかった。加えて、ジェネリック医薬品の在庫が不足している雰囲気の中で、薬局が在庫を確保する動きも出ていると聞いている。現在、ジェネリック医薬品の在庫を把握する仕組みはなく、我々も報道等で現状を確認しているような状況で、今後2年ほどはこのような状況が続くと聞いている。引き続き、これらの動向を注視しながら、丁寧に広報をしていきたい。</p> <p>（事業主代表）</p> <p>私も個人的に病院に行った際、処方してほしいジェネリック医薬品の在庫がないと言われた。その辺りの周知も加入者には必要だと思うし、安定してジェネリックが使えるように働きかけて欲しい。</p> <p>（事業主代表）</p>	

令和3年度について、大きな成果があげられていると感じた。その中で被扶養者資格の再確認について、企業の書類提出率が目標を下回る状況だったが、対象事業所数はどの程度あるのか。企業の総務担当の体制の問題もあり被保険者証の回収の問題も絡んでくるが、企業への周知やフォローがどうなっているか教えて欲しい。

(事務局)

対象事業所は、全体で59,000事業所。このうち、未提出事業所に対するフォロー等について、書面で提出勧奨を行った上で、それでも提出がない場合は電話勧奨を行っている。これらのフォローについて、特に令和2年度と変更はないが、今回、提出率が低下した要因については、海外居住者等の被扶養者の資格確認業務が厳格化されたことにより、必要な確認書類等が増加したことも少なからず要因にあるのではないかと感じているところ。

(学識経験者)

不正請求に関して、令和3年度について不正請求が疑われる案件はなかったということか。疑われたものはあるが、保険給付の適正化会議に諮るまでの事案はなかったということか。

(事務局)

不正が疑われるものはあったが、内容審査において調査した結果、特段不正とまで言い切れない内容であったということで、ご質問については、適正化会議に諮るまでの事案がなかったということである。

② 健康経営推進の取組み及び第2期埼玉支部データヘルス計画の実施状況について

質問等、特になし

③ 令和4年度埼玉支部事業計画及び支部保険者機能強化予算について

質問等、特になし

④ 協会のインセンティブ制度について

質問等、特になし

⑤ 関東甲信越ブロック評議会の開催結果報告について

(学識経験者)

準備金関係の議論に関し、本部の検討結果については、我々に共有していただけるのか。

(事務局)

本部が検討した結果については、今後、報告する。今回の財政、準備金関係の議論は関東甲信越ブロックに限定された議論ではないため、全ブロック、全支部に対し、検討結果として還元されるものと思われる。

特記事項

- ・次回は7月20日（火）に開催予定。